

名前 () 日づけ (/) できた数 (/25)

使い方 書き下し文を声に出して読んでから、傍線の番号を手がかりに解きます。この話は句法が四つ（禁止・使役・以A為B・反語）そろって出る、漢文の見本のような文章です。

あらすじ＝虎につかまった狐が「天帝が私を百獣の長にした。食べれば天命にそむく。疑うなら先を歩くから見ていろ」と言う。獣は逃げるが、それは虎をおそれたから。虎はそれを狐の力だと誤解する。

一次の書き下し文を読んで、後の問いに答えよ。

虎（とら）^①百獣（ひやくじゆう）を求（もと）めて之（これ）を食（く）らひ、^②狐（きつね）を得（え）たり。狐曰（いは）く、「^③子（し）^④敢（あ）へて我（われ）を食らふこと無（な）かれ。天帝^⑤我（われ）をして百獣に長（ちやう）たらしむ。今子我を食らはば、^⑥是（これ）天帝（てんてい）の命（めい）に逆（さか）らふなり。子^⑦我（われ）を以（もつ）て信（しん）ならずと為（な）さば、^⑧吾（われ）子の為（ため）に先行（せんかう）せん。子^⑨我（われ）に随（したが）ひて後（うしろ）にし觀（み）（み）よ、百獣の我を見て^⑩敢（あ）へて走（はし）らざらんや。」と。

虎^⑪以て然（しか）りと為し、故（ゆゑ）に^⑫遂（つひ）に之（これ）と行（ゆ）く。^⑬獣（じゆう）之（これ）を見て皆（みな）走る。虎獣^⑭の己（おのれ）を畏（おそ）れて走るを知らずして、^⑮以て狐を畏るると為すなり。

語注 子＝あなた（二人称）。狐が虎に向かって言っている。長たり＝かしらである。走る＝逃げる（現代語の「走る」ではない）。然り＝そのとおりだ。畏る＝おそれる。

A 語句と読み (1～6)

(1) ③「子(し)」の意味と、これは誰が誰に向かって言った言葉か

(2) ⑬「獣(じゅう)之を見て皆(みな)走る」の「走る」の意味

(3) ⑤の「長たり」の意味

(4) ⑨の「随ひて」の読みと意味

(5) ⑪の「然り」の意味

(6) ⑧の「為」の読みと意味

B 句法 (7～10) ※禁止・使役・以A為B・反語

(7) ④「敢(あ)へて我(われ)を食らふこと無(な)かれ」の句法名と意味

(8) ⑤「我をして百獣に長(ちやう)たらしむ」の句法名を漢字二字で答えよ

(9) ⑦「我を以(もつ)て信(しん)ならずと為(な)さば」の「以A為B」の読みと意味

(10) ⑩「敢へて走(はし)らざらんや」の句法名と意味

C 何を・誰を指すか (11～13)

(11) ⑥ 「是(これ) 天帝(てんてい) の命(めい) に逆(さか) らふなり」 の「是」は何を指すか

(12) ⑭ 「己(おのれ) を畏(おそ) れて走る」 の「己」とは誰のことか

(13) ⑫ 「遂(つひ) に之と行(ゆ) く」 の「之」とは誰のことか

D 口語訳 (14～17)

(14) ④ 「敢(あ) へて我(われ) を食らふこと無(な) かれ」

(15) ⑤ 「我をして百獣に長(ちやう) たらしむ」

(16) ⑩ 「敢へて走(はし) らざらんや」

(17) ⑮ 「以て狐を畏ると為すなり」

E 内容・記述 (18～22)

(18) ①・②から、虎と狐はどのような場面で出会ったのか。二十字以内で書け。

(19) ⑪「以て然（しか）りと為し」とあるが、虎は何を「そのとおりだ」と思ったのか。三十字以内で書け。

(20) ⑬「獣（じゅう）之を見て皆（みな）走る」について、獣たちが逃げた本当の理由を、狐か虎かを明らかにして書け。

(21) ⑮「以て狐を畏るると為すなり」について、虎はどのように誤解したのか。四十字以内で書け。

(22) この話における「狐の論理」とはどのようなものか。簡潔に書け。

F 故事・文学史 (23～25)

(23) この故事の出典となった書物の名を答えよ。

(24) 「虎」と「狐」は、それぞれどのような立場の者をたとえているか。

(25) 故事成語「虎の威を借る狐」の意味を答えよ。

【テスト直前チェック】この三つ ①「走」＝逃げる。現代語の「走る」ではありません。ここを落とすと全部ずれます。②句法四つ＝禁止「敢へて～こと無かれ」／使役「～をして…しむ」／「以A為B」／反語「敢へて～ざらんや」。③誤解の中身＝獣は虎をおそれたのに、虎は狐をおそれたと思った。ここが記述の答えです。